

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	工学部電気電子工学科
学年(出発時)	4年
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2024年9月～2025年2月
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)		
	授業日	自習日
6:00	オンラインミーティング	オンラインミーティング
7:00	オンラインミーティング	オンラインミーティング
8:00		
12:00	昼食	昼食・タンデムパートナー(言語学習)
13:00		タンデムパートナー(言語学習)
14:00	授業	
15:00	授業	図書館で自習
16:00	軽食	図書館で自習
17:00	授業	図書館で自習
18:00	授業	図書館で自習
19:00	授業	夕食
20:00	夕食	図書館で自習
21:00	図書館で自習	図書館で自習
22:00	図書館で自習	帰宅
23:00	図書館で自習・帰宅・就寝	
0:00		

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
ドイツ語コースA1.2	6	12	ドイツ語・英語	講義・試験・グループワーク・発表
Fundamentals of Simulation Method	3		英語	講義・試験

大学のサポート	
チューターの有無	あり
チューターのサポート内容	銀行口座開設, SIM申し込み手続き等, 日常生活に必要なこと
語学コースの有無	あり
コース名、料金、期間等	ドイツ語準備コース, 学期開始前1か月, 無料(教科書は有料)

生活	
住居のタイプ	学生寮(シェアアパート)
住居の名前	Im Neuenheimer Feld 133
部屋タイプ	4人ルームシェア(自分の部屋以外共用)
ルームメイト(国籍)	ドイツ人×2, ブルガリア人×1
室内設備	机・椅子・ベッド・洋服ダンス・棚・暖房
共用施設	洗面台・トイレ・シャワー・キッチン・洗濯機
インターネット設備	あり(ルーターを持ち込むか購入する必要あり), 無料
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	キャンパスNeuenheimerは徒歩3分, 旧市街キャンパスまではバスで20分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	外国人局
Visa取得にかかった日数	4か月
Visa取得にかかった費用	17,000円(公証) + 約9,000円(ビザ発行手数料) = 約26,000円
Visa取得方法、提出書類等	まずは外国人局ウェブサイトでオンライン申請。足りない書類があればメールが届きます。最後に準備完了のメールが届いたら市役所に行き、ビザを受け取る。 オンラインで必要な提出書類は、賃貸契約書、入学証明書、保険加入証明書、住民票、パスポート、奨学金受領証明書、写真、日本の銀行の残高証明書、公証された宣誓書(三重大学でもらった書類を編集して、両親に日本の公証役場に持ってってもらい公証してもらう) 必要になる書類は、担当者により異なります。できるだけ多く準備して損はないと思います。
留学先大学の最寄り空港までの経路	ハイデルベルク中央駅からフランクフルト国際空港は、DB(ドイツ鉄道)で約1時間。 マンハイム中央駅やフランクフルト中央駅で乗り換えがある場合もあり。
渡航費用	約26万円
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	不明
帰国後の進路	三重大学大学院

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝157～166円 (大体162円)
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	海外旅行保険(半年): 60,762円, ドイツ健康保険(半年): 約108,730円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	約8,200円(ドイツ語コースの教科書代)
宿舍費(月額)	48,114円 (297€)
光熱費(月額)	宿舍日に含む
食費(月額)	約50,000円 (約300€)
その他	旅費, 娯楽費, 移動費
留学期間中にかかった費用の合計	約100万円(ここから奨学金分を除く)

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

高専在学時から、言語学習や異文化理解のために海外で生活することに関心があり、留学を考えていました。ただ、新型コロナウイルスの影響で、いくことができず、今回の交換留学を決定しました。協定大学が数多くある中、英語圏以外だと、英語のみならず現地言語も学習できると考えました。その中でも、元々ドイツの技術や政治・政策に興味があったこと、ハイデルベルク大学の交換留学では、Jasso(日本学生支援機構)からの奨学金を受け取れる可能性があることから、大学を決定しました。

実際に留学をしてみてよかったと感じる点は、外国語に対する壁が薄くなったことです。留学前は、10年以上学んできた英語を話すことすら、少し緊張してしまっていました。しかし、ドイツにいる期間が長くなるにつれて、英語に加えてドイツ語に触れる機会も増え、外国語を話すことに対する苦手意識が薄れていきました。特にドイツ語は、全くとっていいほど知識がなく、1からのスタートでしたが、ドイツ語の授業で単語や文法を学び、実際の生活で自分の意図を伝えられる機会が増え、相手に通じた時には達成感を得ることができました。

苦労した点は、学生ビザの取得に必要な資金証明の提出でした。ドイツでは資金証明の審査が担当者の裁量に委ねられているため、私の担当者は特に厳しく、他の人が通った書類と同じ形式で提出しても認めてもらえませんでした。特に、Wiseの残高証明や準備していた書類は受け入れてもらえず、再提出を求められました。そのため、父親に協力してもらい、公証役場で宣誓書および口座残高証明書を作成・公証してもらい、ようやくビザを取得できました。このとき、相談に応じてくれたドイツ人の友達や両親に、心から感謝し、人の暖かさを改めて実感しました。

もう一つ苦労したのは、言語の壁です。留学前にドイツ語や英語の勉強を十分にしていなかったため、現地で外国人と円滑に会話するのが難しいと感じました。特に、他の日本人留学生在が外国人と自然に話しているのを見て、自分との語学力の差を実感しました。授業や日常生活で意思疎通がうまくいかず、もどかしさを感じることも多かったです。

半年間、ドイツに来た外国人として生活を送り、言語の壁や手続きの違いを感じてきました。そんな中、周囲の友達に本当に助けられました。だからこそ、友達や知り合いとの関係の重要性を再認識しました。ドイツの政治、社会問題、税金、これからの人生などたくさんのことを寮の共有スペースで時間を気にせず語り合った寮の友達は、今でもメッセージでやり取りをしています。日本に留学する予定の友達とは、日本で会う約束もしました。

今回の留学で得た知識や経験を今後の人生でも忘れないようにしていきたいと思います。

今後留学する人へのアドバイス

ビザに関して...

日本人の場合、ヨーロッパは3か月間ビザなしで滞在することができ、申請から一般的に1～2か月でビザを取得できます。ただ、私の場合のように、ビザ取得にそれ以上の時間がかかってしまう可能性もあると思います。私はドイツに入国してから3週間でビザの申請をしましたが、十分な資金証明をするための書類が認められず、実際にビザを受け取ることができたのは3か月以上先でした。この間授業や生活も続けながら、合間にビザの手続きをしなければならず、精神的にもストレスを感じてしまいました。ドイツに限らず、ヨーロッパの数か国は、数年前に比べて国境の警備を強化しています。これから留学する方は、日本出国前にビザに必要な書類や手続きを十分に把握しておく、入国してからでも安心して生活ができると思います。

語学に関して...

ヨーロッパでは、母国語に加えて英語を話することができる人が多いです。そのため、留学前に、英語や英会話の勉強をしておくことをおすすめします。そうすることで、周りの外国人や現地学生と、仲良くなれるきっかけを増やすことができると思います。

報告書記入日

2025年2月21日